

物

語

種員作

國貞画

十三編下

~ 13
3754
6







門 へ 13  
5754  
巻 6

公 滝

物語

十三卷

國 貞 畫

繪 貞 化

下 冊



























あつちのしん

十七



あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん

保田  
講中  
南無地蔵菩薩  
縁起

あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん

あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん

あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん

あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん  
あつちのしん





Handwritten text at the top of the left page, including the title '山崎の女' (Yamazaki no Onna) and other introductory notes.

Main body of handwritten text on the left page, providing a narrative or commentary on the scene depicted in the illustration.



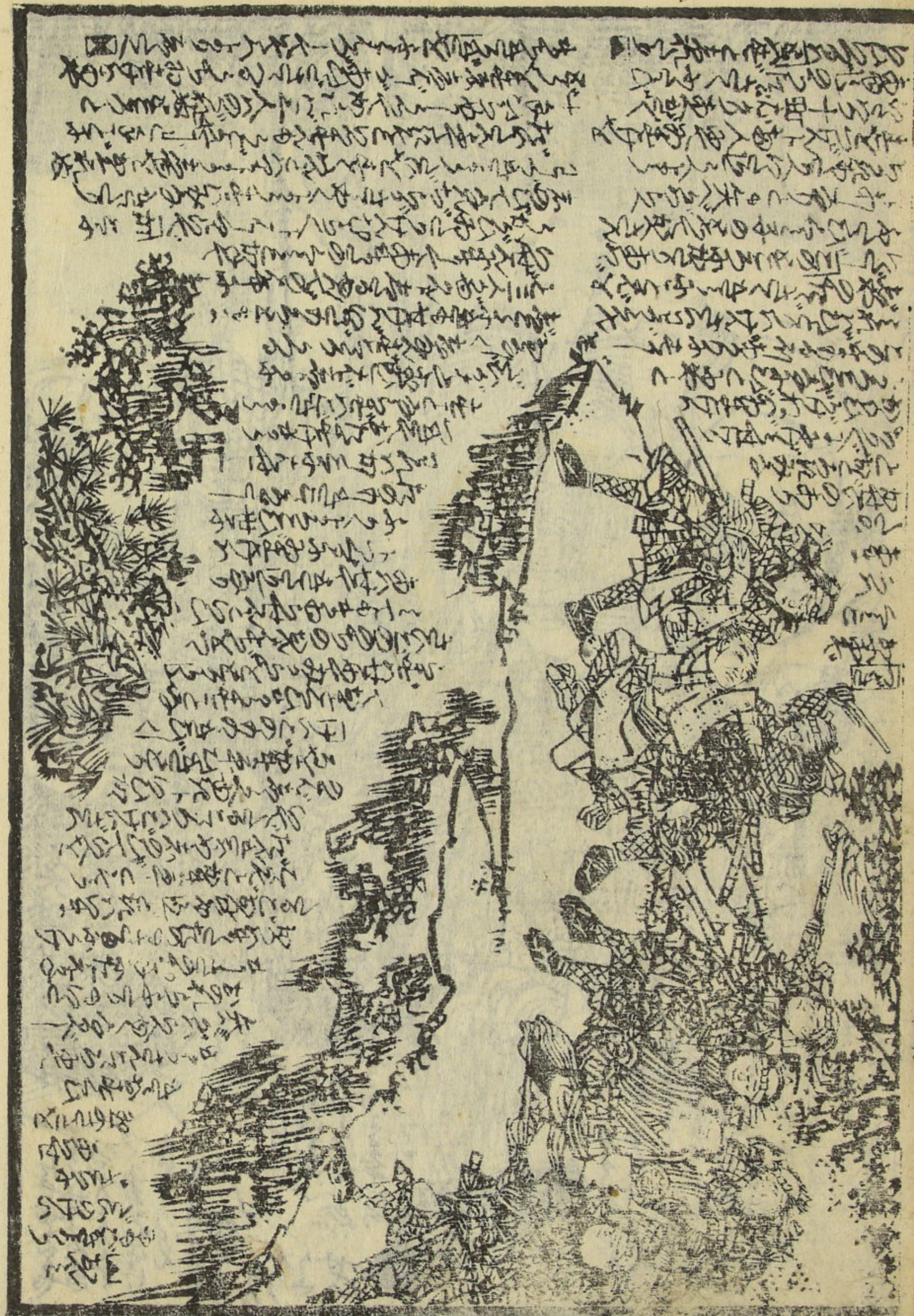
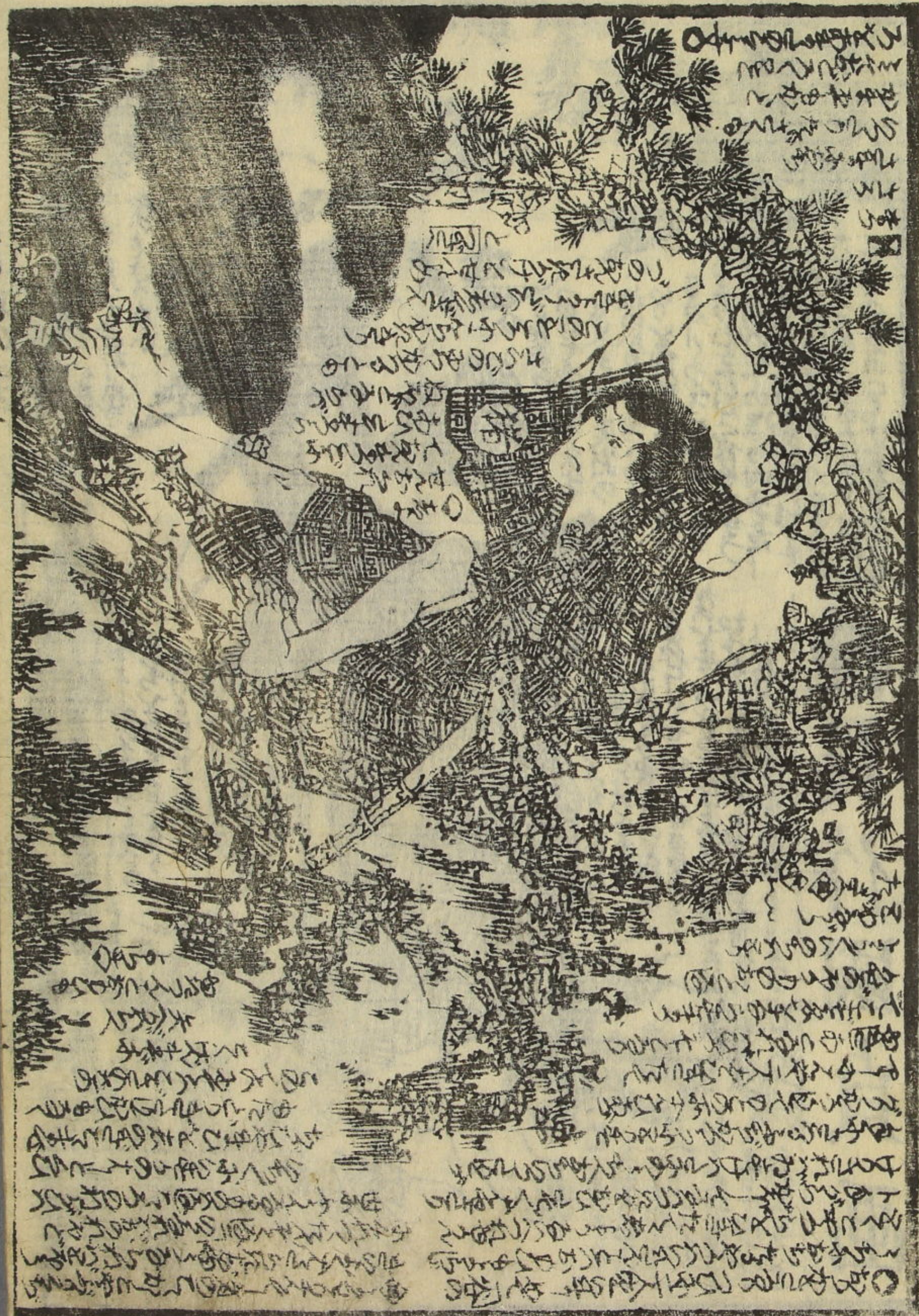
Handwritten text at the top of the right page, including the title '山崎の女' (Yamazaki no Onna) and other introductory notes.

Main body of handwritten text on the right page, providing a narrative or commentary on the scene depicted in the illustration.













種員作國貞画

浪遊黄金鏡

此の巻は、浪遊黄金鏡の物語である。主人公は、黄金の鏡を手にし、各地を浪遊する。この巻では、その冒険の最中、ある村で出会った人物との対話や、その村の風景が描かれている。物語は、黄金の鏡の秘密と主人公の運命を軸に展開する。

此の巻は、浪遊黄金鏡の物語である。

江戸海川依實  
廣園齋書助梓



